

スマート県庁構築事業

情報政策課／コンプライアンス・行政経営課／職員キャリア開発センター

1 目的

業務の効率化や県民サービスの向上を図るため、ICTを活用して「しごと改革」を推進する。

2 内容

(①～③：テレワーク)

①-1 モバイルワーク / タブレット型端末の活用

取組内容 ●タブレット型端末を出張時等の業務に活用
[県庁・合庁に幹部用・貸出用を配置済 → H30：継続]

新①-2 モバイルワーク / モバイル PC の活用

取組内容 ●モバイル PC を出張時等の業務に活用
[H30：新たに県庁に5台導入予定]

主な効果 ●現場・出張先での情報共有、意思決定の迅速化、情報収集・資料作成等業務の効率化、視覚的にわかりやすい説明

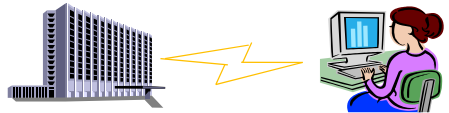


② サテライトオフィス

取組内容 ●遠距離通勤者や合庁へのお出張者等が県庁・合庁等のサテライトオフィスで専用パソコンを利用し業務を行う。
[県庁・合庁・単独現地機関に設置済 → H30：継続]

③ 在宅勤務

取組内容 ●職員が自宅で専用パソコンを利用し業務を行う。
[県庁・合庁に貸出機を配置済 → H30：継続]



主な効果 ●ワークライフバランスの向上
●業務の効率化 等

④ テレビ会議

取組内容 ●複数の県機関や外部機関を結んでテレビ会議を実施
[H30：システム更新（品質向上・取扱い負担軽減）]

主な効果 ●情報伝達・共有の効率化、コミュニケーションの活性化
●移動時間・出張経費の削減 等



⑤ ペーパーレス会議

取組内容 ●タブレット型端末を利用し、紙資料を使わない会議を実施
[県庁及び合庁(2)に導入済 → H30：継続]

主な効果 ●紙の削減 ●会議準備作業の省力化 ●視覚的にわかりやすい説明 等



⑥ 無料公衆無線 LAN (フリーWi-Fi) サービス

取組内容 ●県庁及び合同庁舎の県民ホール等に無料の Wi-Fi 環境を整備
[県庁及び合庁に設置済 → H30：継続]

主な効果 ●県民（来庁者）の利便性向上 ●職員出張時の情報受発信の利便性向上
●災害発生時の情報通信環境の向上 等



新⑦ RPA (ロボットによる業務自動化) と AI (人工知能) の活用

取組内容 ●新たなソフトウェア技術の導入により、PCで行っている定型作業を自動化
[H30：調査・実証・開発を行い、数種類の業務を選定、適用予定]

主な効果 ●バックオフィス業務の効率化 ●生産性の向上 ●時間の使い方の変革 等

